

付議事件及び審議結果

平成29年5月臨時会

平成29年5月26日上程

- | | | |
|--------|--|---------|
| 議案第 9号 | 上田地域広域連合副広域連合長の選任について | 5月26日同意 |
| 議案第10号 | 上田地域広域連合公平委員会委員の選任について | 5月26日同意 |
| 議案第11号 | 真田消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の購入について | 5月26日可決 |
| 議案第12号 | 上田中央消防署高規格救急自動車の購入について | 5月26日可決 |
| 報告第 1号 | 専決処分した平成28年度上田地域広域連合消防特別会計補正予算（第2号）の承認について | 5月26日承認 |

議事日程

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 諸般の報告
- 第 3 議席の指定
- 第 4 会期の決定
- 第 5 議案第 9 号 上田地域広域連合副広域連合長の選任について
- 第 6 議案第 10 号 上田地域広域連合公平委員会委員の選任について
- 第 7 議案第 11 号 真田消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の購入について
議案第 12 号 上田中央消防署高規格救急自動車の購入について
- 第 8 報告第 1 号 専決処分した平成28年度上田地域広域連合消防特別会計補正予算(第2号)の承認について
- 第 9 諸般の報告
- 第 10 議案第 11 号 真田消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の購入について
(委員長報告)
- 第 11 議案第 12 号 上田中央消防署高規格救急自動車の購入について
(委員長報告)
- 第 12 報告第 1 号 専決処分した平成28年度上田地域広域連合消防特別会計補正予算(第2号)の承認について
(委員長報告)

本日の会議に付議した事件

日程第1から第12まで

出席議員（23名）

第1番	山田英喜	君
第2番	土屋勝浩	君
第3番	井澤信章	君
第4番	松井幸夫	君
第5番	佐藤千枝	君
第6番	阿部貴代枝	君
第7番	杳掛計三	君
第8番	宮下壽章	君
第9番	宮下省二	君
第10番	金沢広美	君
第11番	三井和哉	君
第12番	西沢逸郎	君
第13番	横山好範	君
第14番	依田俊良	君
第15番	小川純夫	君
第16番	竹内英和	君
第17番	安藤友博	君
第18番	土屋陽一	君
第19番	小林隆利	君
第20番	久保田由夫	君
第21番	半田大介	君
第22番	西沢悦子	君
第23番	入日時子	君

欠席議員（なし）

説明のために出席した者

広域連合長 母袋 創一 君

副広域連合長 ○東御市長 花岡 利夫 君
○青木村長 北村 政夫 君
○長和町長 羽田 健一郎 君
○坂城町長 山村 弘 君

広域連合監査委員 三好 健三 君

事務局 ○事務局長 手塚 明 君
○消防長 長谷川 好明 君
○会計管理者 樋口 孝子 君
○事務局
総務課長 林 克臣 君
○事務局
企画課長 坂井 美嗣 君
○事務局
介護障がい
審査課長 中島 達夫 君
○事務局
ごみ処理
広域化
推進室長 橋詰 邦昭 君
○消防次長
(兼)
消防本部
総務課長 岩倉 光男 君
○消防次長
(兼)
上田中央
消防署長 松井 正史 君
○清浄園所長 深町 比呂志 君
○上田
クリーン
センター
所長 両角 功 君
○丸子
クリーン
センター
所長 土屋 隆 君

○東 クリ 部
ク リ ー ン
セ ン タ ー
所 長 関 博 一 君

事 務 局 米 沢 正 君

本会議

午前 9時30分 開 会

* 議長（土屋陽一君） ただいまから平成29年5月上田地域広域連合議会臨時会を開会いたします。
これより本日の会議を開きます。

ここで、広域連合長が発言を求めていますので、これを許します。

母袋広域連合長。

[広域連合長 母袋創一君登壇]

* 広域連合長（母袋創一君） おはようございます。去る平成29年3月5日、松本市前鉢伏山斜面に長野県消防防災ヘリコプター「アルプス」が墜落するという痛ましい事故が発生しました。この事故により、上田地域広域連合消防本部から長野県へ派遣していた甲田道昭君を含む長野県消防防災航空隊員9名の尊い命が失われました。誠に痛恨の極みであり、謹んでお悔やみ申し上げます。甲田君は、当広域連合消防本部において、救助分隊班長まで歴任した救助のスペシャリストで、平成26年4月からは、長野県消防防災航空隊にその活躍の場を広げ、本年3月末には派遣先から戻る予定でありました。航空隊においては、高い志のもと厳しい訓練を重ね、山岳救助をはじめとする人命救助活動に強い使命感を持ってあたり、多くの人たちから信頼された彼の活躍は、私たちの誇りでありました。将来を嘱望された甲田君が突然の事故でお亡くなりになったことは、本当に残念でなりません。御家族の皆様にも心より改めてお悔やみ申し上げます。来る5月30日には、松本市において殉職者合同追悼式が挙行され、当広域内の理事者の皆様と共に、私と土屋議長も参列してまいります。

本日は、ここに上田地域広域連合並びに上田地域広域連合議会として、弔意を表したいと存じます。事故でお亡くなりになった長野県消防防災航空隊員の生前の御功績に敬意と感謝の意を表し、安らかな御冥福を本議場にてお祈り申し上げます。

黙 禱

* 議長（土屋陽一君） ここで、尊い命を失われました甲田道昭さんを含む長野県消防防災航空隊員9名に対し、深甚なる弔意を表し、黙禱を捧げたいと存じますので、御協力をお願いします。

御起立をお願いします。

黙禱開始。

[黙 禱]

* 議長（土屋陽一君） 黙禱を終わります。

御着席ください。

日程第1 会議録署名議員の指名

- * 議長（土屋陽一君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

今臨時会の署名議員は、会議規則第81条の規定により、議長において、12番西沢議員、16番竹内議員を指名いたします。

日程第2 諸般の報告

- * 議長（土屋陽一君） 次に、日程第2、諸般の報告を行います。

去る5月18日、塩野入猛議員及び塩入弘文議員から一身上の理由により広域連合議会議員を辞職したい旨の願い出がありました。地方自治法第126条の規定により、5月18日にこれを許可しましたから、報告いたします。

また、5月8日青木村議会臨時会において、広域連合議会議員に杓掛計三議員及び宮下壽章議員を選出したことの報告がありました。

次に、5月18日、坂城町議会臨時会において、広域連合議会議員に西沢悦子議員及び入日時子議員を選出した報告がありました。

また、上田地域広域連合議会委員会条例第6条1項の規定により、今回新たに議員となられました議員の常任委員会委員の選任については、お手元に配付いたしました委員表のとおり指名いたしましたので、報告いたします。

次に、監査委員から報告のありました例月出納検査結果においては、お手元に配付しておきましたから、ご了承願います。

ここで暫時休憩いたします。着座のままお待ち願います。

午前 9時35分 休 憩

午前 9時40分 再 開

- * 議長（土屋陽一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第3 議席の指定

- * 議長（土屋陽一君） 日程第3、議席の指定を行います。

今回新たに議員に選出されました杓掛計三議員、宮下壽章議員、また西沢悦子議員、入日時子議員の議席につきましては、会議規則第4条の規定により、議長において指定いたします。

杓掛計三議員を7番、宮下壽章議員を8番、また西沢悦子議員を22番、入日時子議員を23番にそれぞれ指定いたします。

日程第4 会期の決定

* 議長（土屋陽一君） 次に、日程第4、会期の決定を議題といたします。

今臨時会の会期は、本日1日といたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

* 議長（土屋陽一君） 御異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日とすることに決しました。

広域連合長挨拶

* 議長（土屋陽一君） ここで、広域連合長から挨拶があります。

母袋広域連合長。

〔広域連合長 母袋創一君登壇〕

* 広域連合長（母袋創一君） 本日ここに、平成29年5月上田地域広域連合議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、公私ともに御多忙の中、御出席を賜りまして誠にありがとうございます。

また、ただいまは去る3月5日に長野県消防防災ヘリコプター「アルプス」の訓練事故により殉職いたしました消防本部職員である甲田道昭消防司令長を含む9人の隊員の方々に対しまして、黙祷を捧げていただきましたことに重ねて御礼を申し上げます。

甲田君は、地域の皆様の生命財産を守るため、日夜努力を欠かさず、職務に励んでおりました。この甲田君の遺志をしっかりと受け継ぎ、これからの地域における安全と安心の確保に全力を尽くしてまいりたいと考えております。

さて、今臨時会におきましては、さきに行われました青木村長選挙において、北村政夫村長が再選されましたことから、上田地域広域連合副広域連合長選任の同意をお願い申し上げます。併せまして、任期満了に伴う公平委員につきましても選任の同意をお願い申し上げます。

また、広域連合議会におきましては、青木村議会議員選挙による議員の交代と、申し合わせによる坂城町選出議員の交代がございました。

退任されました議員各位のこれまでの御尽力に対しまして、厚く御礼申し上げるとともに、新たに選出されました議員各位におかれましては、当広域連合のさらなる発展のため、御指導、御支援をお願い申し上げます。

それでは、当広域連合の重要課題について、それぞれ取組の一端を述べさせていただきます。 まず最初に、広域連合の最重要課題である資源循環型施設の建設について申し上げます。

去る4月7日に資源循環型施設建設対策連絡会の皆様から事業実施の前提となる環境影響評価について、関係地域の住民及び対策連絡会の合意を得て行うようにとの申し入れがございました。

これに対し、広域連合としましては、これまでと変わらぬ基本姿勢を示し、環境影響評価、地形測量及び地質調査等については、地元説明会を通じ、地域住民の皆様には事業及び各調査の内容を御理解していただいた上で実施してまいりたいと回答し、4月25日には対策連絡会に懇談会開催をお願いいたしました。

その後、新役員体制になってから初めての懇談会を5月22日に行い、今までの懇談会において11項目の課題から集約され、特に懸案事項となっております統合リサイクルプラザの「併設」と「分離」及び焼却炉の「3炉構成」と「2炉構成」の課題について、より踏み込んだ話し合いを行い、一通りの課題整理ができました。

また、次の段階として地域全体の議論を深めるためにも、地元説明会が必要であることから、その内容等を今後対策連絡会の皆様と調整させていただきたいことをお願いいたしました。

今後も対策連絡会との信頼関係の構築に努め、地元皆様には、この説明会を通じて、事業に対する御理解をいただく中で早期に環境影響評価などの調査が実施できるよう取り組んでまいります。

次に、ごみの減量化・再資源化に向けての取組について申し上げます。平成28年2月に改定されました「第三次ごみ処理広域化計画」に基づき、ごみの減量化・再資源化を一層推進するために、関係市町村ごとに平成32年度の可燃ごみ減量化目標を定め、広域連合全体としては年間で3万6,933トンを設定しております。

平成28年度、上田地域広域連合全体の可燃ごみ搬入量は、4年連続で減少し、過去最小値を更新する4万572トンでありました。

目標値4万220トンには、あと352トン及びみせんでしたが、前年より300トン、0.7パーセントの削減ができました。

内訳を見ますと、家庭系可燃ごみは2万7,495トンで、前年より679トン、2.4パーセントの削減ができましたが、事業系可燃ごみは1万3,076トンで、前年より379トン、3.0パーセントの増加となりました。

この要因としては、各市町村でのごみの減量化・再資源化施策が各家庭に浸透し、多くの住民の皆様がさまざまな取組を行い、排出量減少に御努力いただいた一方、NHK大河ドラマ「真田丸」の放送により、多くの観光客が上田地域に訪れたことによる経済活動の活性化や企業活動の活発化などにより事業系可燃ごみは増加したものと推察されます。

今後は、平成32年度の減量化目標値の達成に向け、平成29年度の削減目標を3万9,574トンに設定し、特に事業系可燃ごみの削減に向け、内容物検査の充実や関係市町村と連携した排出業者への個別訪問による協力要請を行うなど、積極的かつ効果的な啓発活動と情報提供に努めてまいります。

次に、第5次上田地域広域連合広域計画策定の進捗状況について申し上げます。

平成30年度から平成34年度までを計画期間とする新たな広域計画の策定に向けて、昨年度から作業を進めております。

去る3月15日には、圏域内のさまざまな分野で御活躍されておられる地域住民16人で構成する広域計画策定委員会を設置し、これまでに3回の策定委員会を開催する中で、委員の皆様からは、現計画の基本理念や将来像を継承しながら、「上田地域定住自立圏構想」との連携・協調を図る方向で活発な議論をいただいております。

今後は、月1回のペースで合計4回の委員会を予定する中で、委員の皆様の見解をしっかりと伺い、それぞれの地域が持つ特性を生かしながら関係市町村が互いに支え合い、総合的な発展につながるよう計画策定を進めてまいります。

次に、広域的な観光振興について申し上げます。

昨年は、NHK大河ドラマ「真田丸」の放送により、上田地域全体の知名度が格段に向上した年でしたが、ことしは7月から9月の3か月間、「世界級のリゾートへ、ようこそ。山の信州」と題して、長野県観光部が事務局となり、JRグループや旅行会社と連携し、全国から長野県への誘客を図る「信州デスティネーション・キャンペーン」が開催されます。

この機会を捉え、広域内の高原・特産物・温泉にスポットを当てた観光パンフレット「ふらっと、感動。信州上田地域の旅」をキャンペーン用として新たに作成するほか、キャンペーン期間中の山の日に合わせて8月10日から12日までの3日間を「信州上田地域 金沢の陣」と位置づけた金沢駅での観光キャンペーンの実施、11月26日からの2日間、東京での信州上田地域「銀座NAGANOの陣」、また翌3月中旬にも「旅まつり名古屋2018」に参加するなど、上田地域への誘客を図ってまいります。

また、昨年に引き続き地域内の真田氏関連の史跡8か所のチェックポイントをめぐる「真田歴史めぐりスタンプラリー」の実施や昨年度作成し、大変好評をいただいております観光パンフレット「いざ、真田幸村公ゆかりの地へ」の増刷など、関係市町村や上田地域観光協議会などと連携しながら、地域の観光資源を活用した広域的な観光振興を図ってまいります。

次に、地域医療対策について申し上げます。

まず、「信州上田医療センター医師確保事業」につきましては、長野県が事業を開始した平成22年度当初の信州上田医療センターの医師数は36名、この事業を広域連合が引き継いだ平成26年4月時点での医師数は50名でございました。

本年4月1日には61名となり、着実に実績を上げており、この間、産科医師の増員が図られたことにより、分娩の再開やハイリスク分娩対応施設の復活などの成果を上げてまいりました。

また、上小地域医療再生計画における継続事業に合わせ、新規事業といたしまして「看護師修学資金支援事業」を実施し、医療現場のベースとなる看護師の確保につきましても支援をしております。

次に、「病院群輪番制病院等救急搬送収容事業及び後方支援事業」でございますが、平成28年度の救急搬送収容総数は9,480件と、前年度に対し508件、5.7パーセント増加いたしましたが、圏域外搬送数は1,217件で、搬送割合は12.8パーセントと、前年度比0.1ポイントの減少となりました。

また、信州上田医療センターへの搬送割合は、全体の35.1パーセントに上っており、支援の成果が着実にあらわれてきているものと考えております。

次に、広域消防について申し上げます。

平成29年1月以降における火災の発生状況を見ますと、建物火災における住宅火災の割合が約6割に達しております。

春の火災予防運動に合わせて、防火訪問等を実施し、住宅防火の啓発に努めているところでありますが、3月以降は「たき火」による火災が頻発しており、林野火災への拡大が懸念されます。

特に林野火災については、大規模に拡大した場合、空中消火活動なしでの対応は困難となるため、防災ヘリコプターを失った長野県においては、埼玉県・愛知県と新たに応援協定を締結するなど、新たな消防航空態勢を整えているところでありますので、消防本部としてもさまざまな方法で地域の皆様へ火気の取り扱いについて、注意喚起を継続しながら火災予防に関する広報活動を充実してまいります。

また、これまでに消防三大事業として取り組んでまいりました消防救急無線のデジタル化、高機能消防指令装置の更新及び消防本部庁舎の耐震改修については、平成28年度末までに計画どおりに完了できました。今後は、引き続き計画的な消防車両等の整備に努め、消防救急体制の充実強化を図ってまいります。

以上、広域連合の取組について申し上げます。

今臨時会に提案いたします議案は、人事案2件、事件決議案2件、報告1件の計5件でございます。

各提案の内容につきましては、それぞれ担当者から説明いたしますので、よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。

日程第5 議案第9号

* 議長（土屋陽一君） 次に、日程第5、議案第9号 上田地域広域連合副広域連合長の選任についてを議題とし、提案者の説明を求めます。

母袋広域連合長。

[広域連合長 母袋創一君登壇]

* 広域連合長（母袋創一君） それでは、議案書1ページをお願いをいたします。議案第9号 上田地域広域連合副広域連合長の選任について申し上げます。

上田地域広域連合副広域連合長として北村政夫氏を上田地域広域連合規約第12条第3項の規定により、議会の同意をお願いし、選任したいというものでございます。

御同意方よろしくお願い申し上げます。

* 議長（土屋陽一君） これより質疑に入ります。

[「なし」と呼ぶ者あり]

* 議長（土屋陽一君） お諮りします。

本案については、会議規則第37条第3項の規定により委員会の付託を省略いたしたいと思ひます。
これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

* 議長（土屋陽一君） 御異議なしと認めます。

よって、本案については、委員会の付託を省略することに決しました。
これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

* 議長（土屋陽一君） これより採決いたします。

本案を同意することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

* 議長（土屋陽一君） 御異議なしと認めます。

よって、本案は同意されました。

日程第6 議案第10号

* 議長（土屋陽一君） 次に、日程第6、議案第10号 上田地域広域連合公平委員会委員の選任についてを議題とし、提案者の説明を求めます。

母袋広域連合長。

〔広域連合長 母袋創一君登壇〕

* 広域連合長（母袋創一君） 議案書2ページをお願いいたします。議案第10号 上田地域広域連合公平委員会委員の選任について申し上げます。

上田地域広域連合公平委員会委員として、山邊吉憲氏を上田地域広域連合規約第17条第3項の規定により、議会の同意をお願いし、選任したいというものでございます。

御同意方よろしくお願い申し上げます。

* 議長（土屋陽一君） これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

* 議長（土屋陽一君） お諮りいたします。

本案については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会の付託を省略いたしたいと思ひます。
これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

* 議長（土屋陽一君） 御異議なしと認めます。

よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。
これより討論に入ります。

[「なし」と呼ぶ者あり]

* 議長（土屋陽一君） これより採決いたします。

本案を同意することに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

* 議長（土屋陽一君） 御異議なしと認めます。

よって、本案は同意されました。

ここで、暫時休憩いたします。着席のままお待ちください。

午前 9時57分 休 憩

午前10時04分 再 開

* 議長（土屋陽一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第7 議案第11号及び議案第12号

* 議長（土屋陽一君） 日程第7、議案第11号 真田消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の購入についてから議案第12号 上田中央消防署高規格救急自動車の購入についてまで2件一括議題とし、提案者の説明を求めます。

長谷川消防長。

[消防長 長谷川好明君登壇]

* 消防長（長谷川好明君） 議案第11号 真田消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の購入について並びに議案第12号 上田中央消防署高規格救急自動車の購入について、2件一括で御説明申し上げます。

はじめに、議案書の3ページをお願いいたします。あわせて議会資料の2ページを御覧ください。議案第11号 真田消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の購入についての提案理由でございます。平成10年度に購入、本年度で19年が経過し、ポンプや車体等に老朽化が著しいため、計画的に更新整備をすることにより、車両の安全性と消火能力の向上を図り、火災や災害に対し迅速な対応を図るものでございます。

なお、この車両については、財源に国の緊急消防援助隊設備整備費補助金を予定していることから、整備名称に災害対応特殊がついております。この購入契約を締結したいことから、上田地域広域連合に上田市及び組織市町村の条例を準用する条例第2条第15号の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

議案書の中段を御覧ください。1の購入の目的は、災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の更新で

ございます。2の契約の方法は指名競争入札で、3の契約の金額は7,128万円でございます。4の契約の相手方は、上田市真田町本原659番地5、長野消防設備株式会社上田支店、上田支店長、星沢忠夫氏でございます。

続きまして、議案第12号 上田中央消防署高規格救急自動車の購入について御説明申し上げますので、議案書の4ページをお願いいたします。あわせて議会資料の3ページを御覧ください。

提案の理由でございますが、平成22年度に購入、本年で7年が経過し、出勤頻度が高く、消耗が激しいことから、計画的に更新整備するもので、車両の安全性と機能及び性能の向上を図り、あわせて高度救命処置用資機材の更新をすることにより、増加する救急需要に対応し、体制の充実を図るものでございます。この購入契約を締結したいことから、上田地域広域連合に上田市及び組織市町村の条例を準用する条例第2条第15号の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

議案書の中段を御覧ください。1の購入目的は、高規格救急自動車の更新でございます。2の契約の方法は随意契約で、3の契約の金額は3,024万円でございます。4の契約の相手方は、上田市踏入2丁目19番29号、長野トヨタ自動車株式会社上田店、店長、山崎博則氏でございます。

以上、議案第11号 真田消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の購入について並びに議案第12号 上田中央消防署高規格救急自動車の購入についての2件一括で御説明申し上げました。よろしくお願ひ申し上げます。

* 議長（土屋陽一君） これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

* 議長（土屋陽一君） 本案は、お手元に配付いたしました議案付託表のとおり総務委員会に付託いたします。

日程第8 報告第1号

* 議長（土屋陽一君） 次に、日程第8、報告第1号 専決処分した平成28年度上田地域広域連合消防特別会計補正予算（第2号）の承認についてを議題とし、提案者の説明を求めます。

長谷川消防長。

〔消防長 長谷川好明君登壇〕

* 消防長（長谷川好明君） 議案書の5ページ及び別冊補正予算書の1ページをお願いいたします。報告第1号 専決処分した平成28年度上田地域広域連合消防特別会計補正予算（第2号）の承認について御説明申し上げます。

この補正予算は、地方自治法第179条第1項の規定により、平成29年3月28日に専決処分をいたしましたもので、同条第3項の規定により報告し、御承認をお願いするものでございます。

専決処分の理由でございますが、去る3月5日に長野県消防防災ヘリコプターが救助訓練に向かう途中で墜落したことにより、搭乗していた甲田道昭消防司令長が事故に遭い殉職したことに伴い、新

たに退職手当負担金が生じたこと、及びその御遺族に対し故人の労に報いるとともに、御遺族を見舞い、事後の生活の安定を図るために条例に基づき賞慰金を授与したいことから、専決処分をしたものでございます。

補正予算書の5ページをお願いいたします。条文予算でございますが、第1条におきまして、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3,213万6,000円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ22億2,566万9,000円といたしたものでございます。

歳出の内容から御説明申し上げますので、14、15ページをお願い申し上げます。款1消防費、項1消防費、目1消防費で3,213万6,000円を増額し、補正後の予算を20億7,997万8,000円といたしたものでございます。

右のページを御覧ください。節3職員手当等の693万6,000円を増額につきましては、故甲田消防司令長が殉職したことに伴い、長野県市町村総合事務組合に退職手当負担金の納入義務が生じたこと、及び退職を予定していた4人について平成28年度の給与改定した増額分について調整したものでございます。

次の節8報償費の2,520万円の増額につきましては、先ほど申し上げました防災ヘリの墜落事故により、殉職いたしました故甲田消防司令長の御遺族に対し上田地域広域連合に上田市及び組織市町村の条例を準用する条例に基づき、上田市賞慰金条例に定める賞慰金を御遺族に授与したものでございます。

続いて、歳入について御説明申し上げますので、12、13ページにお戻りください。款1分担金及び負担金、項1負担金、目1負担金において、3,213万6,000円を増額を右のページの節1上田市負担金から節4長和町負担金まで報償費の増額に伴う構成市町村の消防費負担金の調整を、また節1上田市負担金及び節2東御市負担金においては、退職金特別負担金の増額分についてお願いしてございます。

以上、報告第1号 専決処分した平成28年度上田地域広域連合消防特別会計補正予算（第2号）について御説明申し上げます。よろしくようお願い申し上げます。

* 議長（土屋陽一君） これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

* 議長（土屋陽一君） 本案は、お手元に配付いたしました議案付託表のとおり総務委員会に付託いたします。

ここで、常任委員会開催のため暫時休憩いたします。

午前10時15分 休 憩

午前11時42分 再 開

* 議長（土屋陽一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

ここで、長谷川消防長より発言を求められておりますので、これを許します。

長谷川消防長。

[消防長 長谷川好明君登壇]

* 消防長（長谷川好明君） それでは、議員各位にお配りしました議会の資料集の中で訂正がございましたので、この場におきまして訂正のほうをお願いしたいと思います。

議案第11号 真田消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の購入についてでございます。2ページをお願いいたします。2ページの下段にございます入札日が平成28年4月27日となっておりますが、それを平成29年4月27日に御訂正をお願いしたいと思います。今後このようなことのないように注意いたしますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

* 議長（土屋陽一君） ただいまの訂正の説明については、御了承願いたいと思います。

日程第9 諸般の報告

* 議長（土屋陽一君） 次に、日程第9、諸般の報告を行います。

休憩中開催されました総務委員会において、総務委員会副委員長に沓掛計三議員が互選されたことの報告がありました。

日程第10 議案第11号

* 議長（土屋陽一君） 次に、日程第10、議案第11号を議題とし、総務委員長の報告を求めます。

宮下省二総務委員長。

[総務委員長 宮下省二君登壇]

* 総務委員長（宮下省二君） 総務委員会は、本会議休憩中に開催し、付託案件の審査を終了いたしましたので、その概要について順次御報告申し上げます。

まず、議案第11号 真田消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の購入について、はじめに入札の経過はどうか。

これに対し、平成29年4月27日に入札を行い、5者から応札があり、1回の入札により7,128万円で落札された。

次に、性能はどうか。

これに対し、車両の概要は四輪駆動、2,000リットルの水槽、油圧救助器具等を積載し、オールシャッター仕様の車両であるとの質疑応答があり、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

* 議長（土屋陽一君） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。

[「なし」と呼ぶ者あり]

* 議長（土屋陽一君） これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

* 議長（土屋陽一君） これより採決いたします。

本案を委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

* 議長（土屋陽一君） 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第11 議案第12号

* 議長（土屋陽一君） 次に、日程第11、議案第12号を議題とし、総務委員長の報告を求めます。

宮下省二総務委員長。

〔総務委員長 宮下省二君登壇〕

* 総務委員長（宮下省二君） 議案第12号 上田中央消防署高規格救急自動車の購入について、はじめに予定価格についてはどのように設定したか。

これに対し、平成27年度に契約した上田東北消防署と丸子消防署の金額を参考に車両動態監視装置とデジタル無線機の移設費用を加算した金額を予定価格としたとの質疑応答があり、本案は可決すべきものと決定いたしました。

* 議長（土屋陽一君） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

* 議長（土屋陽一君） これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

* 議長（土屋陽一君） これより採決いたします。

本案は委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

* 議長（土屋陽一君） 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第12 報告第1号

* 議長（土屋陽一君） 次に、日程第12、報告第1号を議題とし、総務委員長の報告を求めます。

宮下省二総務委員長。

〔総務委員長 宮下省二君登壇〕

* 総務委員長（宮下省二君） 報告第1号 専決処分した平成28年度上田地域広域連合消防特別会計補正予算（第2号）の承認について、はじめに賞慰金の金額はどこの条例を準用したのか。

これに対し、上田地域広域連合に上田市及び組織市町村の条例を準用する条例に基づき、上田市賞
慰金条例を準用した。

次に、遺族への支払いはいつであったか。

これに対し、平成29年4月17日に遺族に対し連合長より表彰状等と目録をあわせ謹呈し、同年4月
20日に遺族の口座に振り込みを行ったとの質疑応答があり、本案は承認すべきものと決定いたしまし
た。

* 議長（土屋陽一君） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

* 議長（土屋陽一君） これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

* 議長（土屋陽一君） これより採決いたします。

本案は委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

* 議長（土屋陽一君） 御異議なしと認めます。

よって、本案は承認されました。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

これをもって、平成29年5月上田地域広域連合議会臨時会を閉会といたします。

午前11時50分 閉 会